

# 桜めーる

二年間町内会活動への  
「ご協力ありがとうございました」

第70号  
発行  
桜ヶ丘町内会  
広報委員会

## 十八年度を振り返って

会長 前田 修三

この二年間、十八年度役員、桜プロジェクト、子ども会、熟年会、民生児童委員など各種団体の方々の活動、桜ヶ丘町内会員の皆さんのご協力とご支援により、十八年度の事業計画案を遂行してまいりました。

年度初めの「桜祭り」は「はちょうちん点灯をパス通り、桜並木道に設置しましたが花冷えにより、夜桜見物、懇親の場に盛り上がりは、今一歩でした。歩こう会」は当日、予備日も悪天候により中止となり、残念でした。

夏祭りには「はらり立った子どもたちが孫をつれ、里帰りされ、みこしの巡航がにぎやかにできました。楽しい夕べでは多くの方の協力により、ふれあいことができました。

「どんと焼き」は例年どおり多くの方が今年一年の安全・健康を願いつつ、献談に花が咲きました。併設開催した新春文化祭では、バイオリンコンサートで音楽のすばらしさを実感しました。表千家のお手前で日本の文化を体験できました。

主な行事に多くの会員の協力を参加により、会員同志のふれあいと繋がりが深まりました。桜ヶ丘町内会は町内会行事のみならず、いろいろな活動で住民の一体化の形があります。桜プロジェクトの四周年に及ぶ活動が継続し、環境グループの毎月の環境維持活動により、緑あふれる毎が町内会、すがすがしい町が維持されています。助け合いグループは小学生の下校見守りに尽力されています。

健康グループは夜の歩こう会と年中行事として地域外の歩こう会を開催し、楽しみにしている方の参加があります。子育てサロンを始めました。草津市の提唱と一年限りの補助をきつ

けに毎月第二、四木曜日にボランティアのご協力で開催し、0歳児から未就園児の子どもと保護者、お母さんです。親子がにぎやかに歌ったり、お話ししたり、楽しいひと時を過ごしながらやかな輪が広がっています。

小学生の下校の見守りは町内のボランティア、桜プロジェクトの助け合いグループ、十八年度役員と保護者で行っています。子どもたちの防犯と交通安全を確保していますが、少し解決すべき課題があり、工夫と知恵で改善していかなければなりません。

新しい同好会「の発足があり、ますます趣味の世界で輪がひろがっています。パントリー委員会ではわが町で唯一のスーパーマーケットが営業成績が思わしくなく、いつ閉店に迫り込まれるかもしれない業績ですが、町内で継続して営業していただくために意見交換と知恵を出し合っています。

陽だまりサークルは閉じこもりがちの高齢者の方のふれあいの場をボランティアの協力で二回集っています。福祉委員会は高齢者ふれあいサロンを開催しました。

このような種々の活動があり、多分草津市、滋賀県、日本でも珍しい町内会であると思います。しかしながら、わが町桜ヶ丘を取り巻く内外の環境が大きく変化し、老若男女に関係なく「生命と安全」を脅かす事件も多く発生するなど、種々の問題がわが町内でも何時発生しても不思議でない状況です。

稲荷湖西岸活断層による地震が起きたら、わが町桜ヶ丘はどうなるのでしょうか。

稲荷湖西岸活断層による地震が起きたら、わが町桜ヶ丘はどうなるのでしょうか。

稲荷湖西岸の活断層による地震発生が予測されています。阪神・淡路大震災が発生してから、十二年が過ぎました。震災の記憶を風化させてはならないと再認識をされています。私は神戸出身です。二四歳まで住んだ、わがふるさと、わが生まれた家がこんなにもひどい状況になるとは予想できませんでした。

何時、神戸と同じような地震がくるのか分からないなかで、町内会として、何が出来るか、大きな課題があります。災害弱者のみならず、桜ヶ丘住民の生命と財産を守る「仕組みの充実が必要」です。

町作り委員会の昨年、今年に安心・安全分科会再開の委員募集をいたしました。いつも一人か二人の参加意思表示で、なかなか分科会が成立しない状況でしたが、とりあえず発足し、一歩前に歩みだしました。

## 減災 災害弱者を救える町?

稲荷湖西岸の活断層による地震発生が予測されています。減災について自主助、自助、公助があります。個人、隣人、班、桜ヶ丘町内会、玉川学区、市の役割、対策が明確にできています。

## 減災については

時系列的に見ますと一、地震が起きるまでにすべきこと二、発生直後の対応策三、発生後三日間の対応策四、発生後四日以後の対応策

発生から三日間の対応策で、発生直後、個人・隣人・班・町内会、草津市、滋賀県役割を明確に文書化されたものはありません。

しかしながら、前述しましたように我が桜ヶ丘町内会は、いざという時には「一致団結できるお互いの、犬の繋がりがありません。これこそ桜ヶ丘のかけがえのない財産です。

この財産を生かし、何時起きても不思議でない地震に対して、減災について個人・隣人・班・町内会の役割の仕組みに、真剣に取り組まねばなりません。

住民の生命と財産を守る、より安心・安全な町づくりへ

稲荷湖西岸断層地震が起これば、桜ヶ丘は震度六弱との予測を発表されました。桜ヶ丘町内会も住民の皆さんと、より具体的に防災・減災・地震対策が必要だと。「二人はみんなのため」に、みんなは一人のためにで臨まなければなりません。

## いろいろな活動実践・議論でよりよい桜ヶ丘町づくりを目指して

今後とも、町内会役員活動、桜プロジェクトその他の種々な活動がいきいきと実践し、実践の中でお互いがぶつかりあい、議論をし、一歩前進し、ひよつとすると二歩後退することもあるかもしれません。できるだけ多くの皆さんと議論を交わして、前進しましょう。来年度は安全な街づくりに、町内会の皆さんの参画と協力をお願い致します。

受動型から能動型へ、依存型から自立型へと変わり、町内に住んでおられる老若男女のすべての皆さんが、より安全で安心な桜ヶ丘へ。

町内住民が一丸となり、ひとりではみんなのために、みんなはひとりのために、自立した、一人「役」の桜ヶ丘を合言葉に、よりよい桜ヶ丘町づくりを目指しましょう。

## 副会長 森田忠司

年末の安全パトロールの夜、神社への石段から見るとこの町は清潔で意外なほど整然として美しい。こもれび池が月影を宿し、ネオンのサンタクロースも見えたりして本当に綺麗と感じたものです。町内会長さん始め要所のスタッフの方々、それに桜プロジェクトや関係サークルの方々の献身的な下支えがあつてこの一年何とか乗り切つてくれたように思います。しかし、高いところからこの町を見下ろしていると、その一軒一軒がネッ

ト等であり余る情報を享受され、何事自由無く過ごされていることを思うとき、明らかに開国のベクトルが地域のことに向かわない時代となっていることもうなずけます。救急車はケイタイ一本で飛んでくるし、パントリーは「一息でも行けるし、国道へ行けば冠婚葬祭と目押し、明らかに村祭りの時代と異なっています。

考えてみると、発足以来三十余年年々歳々、善意から出たものばかりとはいへ、様々な行事や定期的な連絡が付け加えられ、十年前には考えられぬほどの煩雑なものとなってきています。いわば一寸欲しい饅頭なのか、どうしても欲しいか、つた饅頭なのか、これらについて、饅頭はいや」ということになっていることをご理解ください。

これっきり、一年だけの町の役、ほんとによくやる。ディオフェルミン、腸のヤク。

夏祭り実行委員会の統計でも、その八十%が改善、もしくはスリム化を提案されたことはすでに二案内した通りです。会館では日常的に新しい印刷物が刷られ、キヤノンが備わり、印刷物もそのような情報が本来に必要かどうか、原点に立つて考える時代に来ていると思うのです。自らの肩に

にもつぱさ、時には関係団体や市長の肩にもつぱさ、つける必要もあろうかと思ひます。

市民懸、班長動員、吹米か? 町の役、厄、そのうち何ともなりませぬ。

重点思考をすれば、清潔な町また安全に、伸びやかな子どもの成長がはかれるところ、またお年寄りの支援の三点が、それを達成する、キカイとしての町の役割であり、そのために新宮神社山の里山化、こもれび池の自然観察場としての活用等が、豊富な人材のおられるわが町のボランティアの下になされることよと思ひます。昨年六月の統計によると、この町の構成員は二二三五人で、このうち六十歳以上が五九五人となっており、その他に渡れず急速に高齢化が進んでいます。今後の班長の構成を考えると、介護士、それぞんが介護者を支える人、パト車を休むわけにはゆかない主婦、会社維持に「へ」となった壮年層で占められ、しかもやっつと身軽になつて町内のことでもやるか? という六十五歳以上になると以前の力が抜けているということは他ならず自分

が如実に経験しているところだ。

ボケ封じ、探すあいだは、気は確かに切り千両」といわれます。下支えに超繁忙の町内会長さんを支える政策集団が団塊の世代から出てくること望ましいし、それに基づくとサダムフセインの決断が今必要となつてきたらと思うのです。ともかく、担当職力の著しい減少を考えると今後仕事の維持、増大には石橋を叩いて渡るといふより、石橋と「や?」という姿勢が必要になつていくことを皆様に訴えたいと思つ次第です。継続して献身的なご苦労をされる町内会長さんや班長さん各位にこのような苦しいメールを送ることは心苦しい限りであり、それでも関心を持つていただくために一寸オーバにも申し上げたく。

これは人生最後の、この仕事を終えるに於いての筆頭家としての自分の責務かとも思つた次第です。諸々のご協力を頂きました御礼と共に何卒ご理解賜ります様お願い申し上げます。

私たちが住む桜ヶ丘は、歴代役員のご努力によりその年月を感じず美しい街並みと、各同好会や熟年会、子ども会など各種団体が生き生きと活動する町内会に発展してきました。今年度のスタート当初は、本部や各委員会の多岐にわたる仕事を前に戸惑うばかりでしたが、前田会長のもとで総力戦で取り組んで参りました。今年も「夏祭り」をはじめとした各行事には沢山の皆様のご協力とご参加を得て、無事に終えることが出来ました。

その際には桜プロジェクトのご支援も頂き本当に心強いことでした。また日ごろの町内会の活動にも皆様のご協力を賜り無事に任期を終えることが出来ましたこと厚く御礼申し上げます。四月からは前田会長とともに新体制がスタートします。安心・安全な町づくりの理念のもと、沢山の課題とともに次年度に引き継ぐことになりませんが、引き続きご協力をお願いしつ、しめくりのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

副会長 山根啓子

私たちが住む桜ヶ丘は、歴代役員のご努力によりその年月を感じず美しい街並みと、各同好会や熟年会、子ども会など各種団体が生き生きと活動する町内会に発展してきました。今年度のスタート当初は、本部や各委員会の多岐にわたる仕事を前に戸惑うばかりでしたが、前田会長のもとで総力戦で取り組んで参りました。今年も「夏祭り」をはじめとした各行事には沢山の皆様のご協力とご参加を得て、無事に終えることが出来ました。その際には桜プロジェクトのご支援も頂き本当に心強いことでした。また日ごろの町内会の活動にも皆様のご協力を賜り無事に任期を終えることが出来ましたこと厚く御礼申し上げます。四月からは前田会長とともに新体制がスタートします。安心・安全な町づくりの理念のもと、沢山の課題とともに次年度に引き継ぐことになりませんが、引き続きご協力をお願いしつ、しめくりのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

副会長 高倉静雄

平成十八年度町内会副会長を担当させて頂いた事にまずは感謝申し上げます。また、いろいろなたちとの出会い、ふれあい、助け合いがあり、いい町内に住んでいるのだなあと改めて感じる事ができました。

会計 坂上豊治

一年を振り返り、感じた事は、あつという間でした。とはいえこの間には色々な事がありました。嬉しい事、悲しい事、楽しい事、全てが今は良い思い出です。この一年の町内会活動を通じて強く感じた事は、役員の方々は素直で優しく、思いやりがあつて、皆が一丸となつて、町内会をよくしようとする熱意です。

総務 西田直子 前田眞彦

早いもので、班長として、総務として務めた一年も終了となりました。右も左も分からない中でスタートして、本当に務まるかと不安だらけでしたが、会長を始め、たくさんの方々に助けていただき、無事に終えることができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

会計 白井由紀子

早いもので十八年度の役員を務めもあとわずかとなりました。振り返ってみると一年前の今頃は二人の子ども達も「歳小さく、育児班長、本部役員の仕事とやっつけている

保健衛生委員

保健衛生委員として清掃を中心に活動してきました。皆様のご理解とご協力を頂けたお陰で無事にこの一年を終えることが出来ました。ありがとうございました。

- 八班 田中 十四班 入江
十七班 服部 二六班 石川
二八班 野口

環境委員

知性と行動の委員長を中心に、おばさんたち四名が仲良く、一年間の責務を全うしてきました。鯉と鴨を守る会」の十五名のボランティアの人々、これもび池の石畳や整地をしていた

- 六班 橋本 九班 森田
十班 小林 十九班 山本
二三班 忽那

文化厚生体育委員

十八年度の文化厚生体育委員五名一致協力体制で、この一年間頑張ってきました。一年前スタートした時は全く何も判らず、私でこの役を受けてと不安で一杯でしたが、

- 七班 田中 十五班 野口
二二班 西迫 二九班 奥西
三十班 五十川

文化厚生体育委員会 五十川武

毎年恒例のどんと焼き、班長になって初めて参加。買出しから始まり、去年の様子がわからず、品名と金額で何軒もスーパーをまわって、ようやく全部揃え本番にたどりつく。町内の方

新年が明けて間もない一月三日、一日の高日、町内会恒例の新春文化祭が桜ヶ丘会館にて開催されました。茶道、生け花、俳画の各同好会、



新春文化祭」を終えて 実行委員長 山根啓子

墨画「手芸」木彫り「陶芸」木製布製玩具」そして「こまれば池のみじんこ達」のけなげな生体写真など、総数百点を超える力作が並びました。

防犯防火交通委員

今回委員になってみて初めて、これまでの各委員さんのご苦労が分かった次第です。昨年には、痛ましい火事や、空き巣事件が町内でも発生し、又子ども達の通学の安全確保など、安心して暮らせる桜ヶ丘には、まだまだ多くの問題があります。夏祭りをはじめ、防犯パトロール、駅前防犯ピラ配り、学童通学付き添い、防災訓練などの活動を通じて多くの方々と顔見知りになれたことは、委員になってよかったことの一つでした。

- 一班 丸尾 二五班 沢村
二二班 猪原 二七班 大橋
二九班 嶋

防災訓練

二月二十四日、湖南消防署の方よりご指導いただきました。



どんと焼き 文化厚生体育委員会 五十川武



毎年恒例のどんと焼き、班長になって初めて参加。買出しから始まり、去年の様子がわからず、品名と金額で何軒もスーパーをまわって、ようやく全部揃え本番にたどりつく。町内の方